



## 2024年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年5月14日

上場会社名 株式会社CS-C 上場取引所 東  
コード番号 9258 URL <https://s-cs-c.com/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梶原 健  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 林 宏一 TEL 03 (5730) 1110  
四半期報告書提出予定日 2024年5月15日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年9月期第2四半期の業績 (2023年10月1日～2024年3月31日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第2四半期	1,306	9.0	83	△41.0	83	△41.0	48	△44.6
2023年9月期第2四半期	1,198	13.9	141	7.8	141	8.0	88	21.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第2四半期	7.42	-
2023年9月期第2四半期	13.42	-

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第2四半期	2,962	2,366	79.5
2023年9月期	2,775	2,302	82.9

(参考) 自己資本 2024年9月期第2四半期 2,356百万円 2023年9月期 2,300百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年9月期	-	0.00	-	-	-
2024年9月期 (予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年9月期の業績予想 (2023年10月1日～2024年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,019	24.4	14	△93.3	14	△93.5	7	△94.9	1.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期2Q	6,598,800株	2023年9月期	6,572,800株
② 期末自己株式数	2024年9月期2Q	2株	2023年9月期	1株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年9月期2Q	6,583,313株	2023年9月期2Q	6,572,800株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期貸借対照表 .....	5
(2) 四半期損益計算書 .....	7
第2四半期累計期間 .....	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社は、「かかわるC(\*1)に次のステージを提供し、笑顔になっていただく」をミッションに、「マーケティング、テクノロジー、コンサルティングスキルを武器とし、ローカルビジネス(\*2)の活性化を通じて、消費者に日々の楽しみを提供し、店舗、街・地域、国が活性化されている状態。」「公益資本主義(\*3)の浸透により、ビジネスと社会貢献が両立する世界が確立している状態。」の2つのビジョンを掲げ、世界をよりステキに、より笑顔にすることに貢献し、たくさんの「ありがとう」を生み出し続ける会社になることを目指しております。

当第2四半期累計期間（2023年10月1日から2024年3月31日まで）において、当社のクライアントが属するローカルビジネス業界は、元日に発生した石川県能登半島地震の影響で、一部で宴会のキャンセルや観光自粛の動きが見られましたが、新型コロナウイルス感染症の法的位置づけが「5類」に引き下げられて初めての正月や歓送迎会シーズンを迎えたこともあり、人々の動きや消費意欲の回復を後押しに、社会経済活動の正常化が進んでおります。また、国内の人流回復に加えて、インバウンド需要も好調を維持しており、2024年3月の訪日外国人旅行者数は単月で過去最多を更新するとともに、初めての300万人超を記録し、観光業を中心に活発な動きが見られました。

しかしながら、経済活動の正常化に伴いローカルビジネスの需要が回復・増加する一方で、円安やエネルギー価格の高騰による物価上昇、慢性的な人手不足に起因する人件費の上昇等が課題として残っており、依然として厳しい経営環境が続いております。売上は回復傾向にあるものの、利益を確保することが難しく、特に人手不足は2025年問題としても懸念されていることから、今後更に深刻化され、困難な状況に立たされることが予想されます。

ローカルビジネスの活性化を通じて日本経済全体の活性化を目指す当社といたしましては、これらの課題解決に寄与すべく、DX(\*4)化・BPO(\*5)による省人化サービスや、採算確保に貢献するマーケティングツールの提供を行ってまいりました。2023年10月より本格展開したトラベル業界（旅館・ホテル等の宿泊施設）向けサービスの成長も相まって、2024年3月末時点の契約店舗数及びストック売上高については以下のとおり推移いたしました。

#### 契約店舗数

(店舗)

	2021年9月	2022年9月	2023年9月	2024年3月
C - m o	2,931	3,984	4,425	4,933
C +	1,744	1,307	1,298	1,518
合計	4,675	5,291	5,723	6,451

#### ストック売上高

(千円)

	2021年9月	2022年9月	2023年9月	2024年3月
C - m o	1,128,144	1,548,060	1,604,181	1,667,971
C +	415,811	256,198	266,733	359,788
合計	1,543,955	1,804,258	1,870,915	2,027,760

(注) 2021年9月期、2022年9月期及び2023年9月期の各期末（9月）と、2024年9月期の第2四半期会計期間末（3月）における、毎月課金される月額利用料の合計金額を12倍にして算出しております。

「C+ travel」の正式リリースにより前年同期比で増収した一方で、成長促進のための人件費や採用コスト等の販管費の増加により前年同期比で減益となったものの、効率的な投資が奏功し当初予算よりも下回る水準で推移した結果、当第2四半期累計期間の経営成績は、売上高1,306,752千円（前年同期比9.0%増）、営業利益83,589千円（同41.0%減）、経常利益83,704千円（同41.0%減）、四半期純利益48,848千円（同44.6%減）となりました。

なお、当社はローカルビジネスDX事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

#### (\*1)かかわるC

CLIENT（クライアント）、COUNTRY・COMMUNITY（国・地域）、CONSUMER（消費者）、CHILDREN（子供）の5つを指す。

#### (\*2)ローカルビジネス

個人事業主や中小企業を中心とした、地域に根付いた店舗ビジネスの総称で、グルメ・ビューティー・トラベル等のジャンルがある。

(\*3)公益資本主義

世の中の不均等を是正することを目的とし、会社経営で得た利益の一部を社会の課題解決へ再配分するという考え方。

(\*4)DX

デジタルトランスフォーメーション (Digital Transformation) の略。

企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革すると共に、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。

(\*5)BPO

ビジネス・プロセス・アウトソーシング (Business Process Outsourcing) の略。

自社の業務を外部に委託すること。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末に比べ40,091千円増加し、2,295,199千円となりました。これは主に、現金及び預金が7,501千円、売掛金が11,626千円増加したことによるものであります。

当第2四半期会計期間末における固定資産は、前事業年度末に比べ147,526千円増加し、667,548千円となりました。これは主に、「C-mo」の開発に係るソフトウェアが28,375千円、ソフトウェア仮勘定が56,155千円、敷金及び保証金が47,720千円増加したことによるものであります。

上記の結果として、総資産は2,962,748千円となり、前事業年度末に比べ187,618千円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末に比べ128,541千円増加し、596,538千円となりました。これは主に、未払金が78,994千円減少した一方で、未払法人税等が43,337千円、契約負債が88,303千円、賞与引当金が69,196千円増加したことによるものであります。

当第2四半期会計期間末における固定負債は、前事業年度末に比べ4,998千円減少し、20千円となりました。これは長期借入金が4,998千円減少したことによるものであります。

上記の結果として、負債合計は596,558千円となり、前事業年度末に比べ123,543千円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ64,075千円増加し、2,366,190千円となりました。これは主に、四半期純利益48,848千円を計上したことによる利益剰余金の増加によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前事業年度末に比べ7,501千円増加し、2,073,380千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動の結果、獲得した資金は194,067千円となりました。主な増加要因としては、税引前四半期純利益83,704千円、減価償却費52,317千円、賞与引当金の増加69,196千円、契約負債の増加88,303千円がありましたが、一方で、資金の減少要因としては、仮払金の増加21,821千円、未払金の減少78,994千円、法人税等の支払額21,705千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動の結果、使用した資金は181,568千円となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出135,235千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動の結果、使用した資金は4,998千円となりました。減少要因としては、長期借入金の返済による支出4,998千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社をとりまく経済環境は、新型コロナウイルス感染症による国内の行動制限は緩和され、景気の回復傾向が見られる一方で、原材料の不足及び価格の高騰、円安の進行等により不透明な状況が見込まれるものの、2024年9月期の業績予想につきましては、将来の業績に影響を与える可能性のある要因を織り込んで作成しておりますため、2023年11月14日に公表いたしました通期業績予想に変更はありません。

今後、経営環境等の変化により業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示してまいります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年9月30日)	当第2四半期会計期間 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,065,878	2,073,380
売掛金	149,068	160,695
前払費用	44,153	45,141
その他	9,527	28,620
貸倒引当金	△13,520	△12,637
流動資産合計	2,255,107	2,295,199
固定資産		
有形固定資産		
建物	32,614	32,614
減価償却累計額	△11,370	△12,547
建物（純額）	21,243	20,066
工具、器具及び備品	9,806	9,806
減価償却累計額	△7,860	△8,296
工具、器具及び備品（純額）	1,946	1,509
有形固定資産合計	23,189	21,576
無形固定資産		
ソフトウェア	264,603	292,979
ソフトウェア仮勘定	86,083	142,238
無形固定資産合計	350,686	435,217
投資その他の資産		
敷金及び保証金	63,727	111,447
役員及び従業員に対する長期貸付金	2,735	901
繰延税金資産	20,728	39,451
その他	58,954	58,954
投資その他の資産合計	146,145	210,754
固定資産合計	520,021	667,548
資産合計	2,775,129	2,962,748

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年9月30日)	当第2四半期会計期間 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	54,554	59,995
1年内返済予定の長期借入金	9,996	9,996
未払金	245,818	166,823
未払法人税等	21,704	65,042
未払消費税等	19,321	21,635
契約負債	95,880	184,184
預り金	11,891	12,553
賞与引当金	—	69,196
その他	8,830	7,111
流動負債合計	467,997	596,538
固定負債		
長期借入金	5,018	20
固定負債合計	5,018	20
負債合計	473,015	596,558
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	758,185	761,916
資本剰余金	758,241	761,972
利益剰余金	783,710	832,558
自己株式	—	△0
株主資本合計	2,300,136	2,356,447
新株予約権	1,977	9,742
純資産合計	2,302,114	2,366,190
負債純資産合計	2,775,129	2,962,748



(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
売上高	1,198,540	1,306,752
売上原価	407,587	529,576
売上総利益	790,953	777,175
販売費及び一般管理費	649,387	693,586
営業利益	141,565	83,589
営業外収益		
受取利息	43	32
販売協賛金	75	84
助成金収入	—	56
雑収入	316	90
営業外収益合計	434	264
営業外費用		
支払利息	178	149
営業外費用合計	178	149
経常利益	141,822	83,704
税引前四半期純利益	141,822	83,704
法人税、住民税及び事業税	61,549	53,579
法人税等調整額	△7,949	△18,723
法人税等合計	53,600	34,856
四半期純利益	88,222	48,848

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	141,822	83,704
減価償却費	37,584	52,317
株式報酬費用	—	8,386
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3,212	△882
賞与引当金の増減額 (△は減少)	72,501	69,196
受取利息及び受取配当金	△43	△32
支払利息	178	149
売上債権の増減額 (△は増加)	△9,653	△11,626
仮払金の増減額 (△は増加)	—	△21,821
仕入債務の増減額 (△は減少)	19,445	5,440
契約負債の増減額 (△は減少)	△3,026	88,303
未払金の増減額 (△は減少)	△104,335	△78,994
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△17,936	2,313
未払法人税等 (外形標準課税) の増減額 (△は減少)	11,112	11,463
その他	2,750	7,970
小計	153,612	215,889
利息の受取額	43	32
利息の支払額	△178	△149
法人税等の支払額	△86,493	△21,705
営業活動によるキャッシュ・フロー	66,984	194,067
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
従業員に対する貸付けによる支出	△1,920	△4,833
従業員に対する貸付金の回収による収入	1,624	6,557
無形固定資産の取得による支出	△75,684	△135,235
敷金及び保証金の差入による支出	—	△48,057
投資活動によるキャッシュ・フロー	△75,980	△181,568
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	135,000	90,000
短期借入金の返済による支出	△135,000	△90,000
長期借入金の返済による支出	△4,998	△4,998
新株予約権の発行による収入	1,977	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,020	△4,998
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△12,016	7,501
現金及び現金同等物の期首残高	2,022,533	2,065,878
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,010,517	2,073,380

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)

当社は、ローカルビジネスDX事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第2四半期累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)

当社は、ローカルビジネスDX事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。